

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

(評価対象：令和4年度事業)

令和5年10月31日

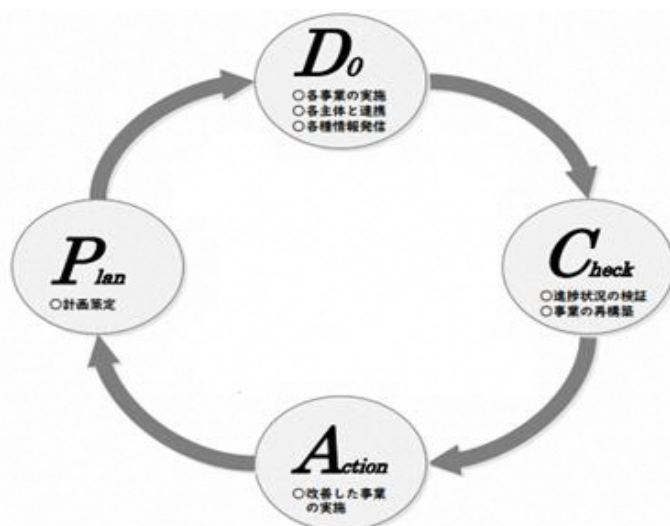
小金井市立図書館

評価の目的

この図書館評価は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に基づき、小金井市立図書館の運営の状況について評価を行うものです。

「小金井市立図書館基本計画（令和4年度～令和8年度）」【Plan】に基づき、小金井市立図書館が行った、評価対象年度の事業の結果【Do】を分析・評価【Check】し、改善【Action】に努めます。

評価結果は市民へ公表し、市民に開かれた図書館運営を図ることで、計画の目指す図書館像「人と地域のための いちばんみずかな『知の拠点』」の実現をめざします。



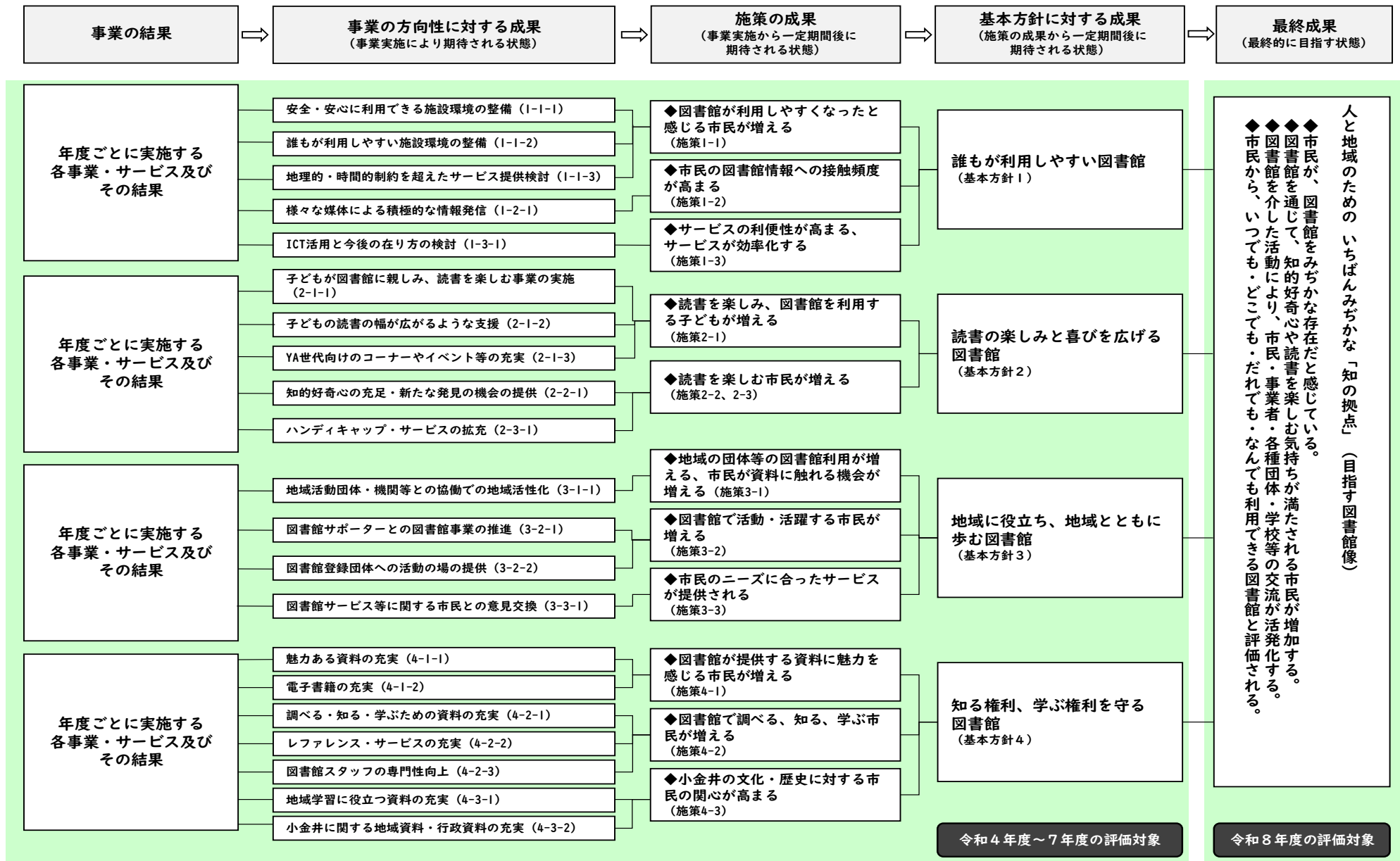
評価方法

評価にあたっては、「小金井市立図書館基本計画の評価の体系図」（2ページ）に基づき、事業の結果の積み上げから市民や地域等にもたらす変化に着目し、計画が目指す状態にどれだけ近づいたか評価します。

計画に掲げる4つの基本方針ごとに、毎年度、事業の実施状況を把握するとともに、定性的な評価も加えて、総合的に評価を行います。第一次評価者を図書館とし、第二次評価者の小金井市図書館協議会に報告し、意見を伺い、評価結果を公表します。

また、次期計画策定時に、5年間の施策・事業展開を踏まえて、基礎調査を実施し、本市の図書館利用率・満足度、事業・サービスの認知度を把握することで、図書館の運営・サービスがどの程度向上したのかの最終的な成果を評価します。

小金井市立図書館基本計画の評価の体系図



基本方針 1 誰もが利用しやすい図書館

内容

図書館は、誰もが安心して施設を利用できるよう、図書館サービスを身近に感じられるよう、環境の整備を行います。また、図書館サービスが広く市民に認知されるよう、広報を行います。

取組目標【Plan】

施策1-1 誰もが利用しやすい施設とサービスの環境づくり

1-1-1 安全・安心に利用できる施設環境を整えます	令和4年度 取組目標【Plan】
1-1-2 誰もが利用しやすい施設環境を整えます	●誰もが安全、安心に利用できる施設環境を保つよう、必要な点検・修繕を適切に行います。 ★本館の開館時間延長を検討します。 ★緑分室の委託化に向けた準備を行います。
1-1-3 地理的・時間的制約により図書館施設の利用が難しい市民に対して、サービスの提供方法を検討します	

施策1-2 市民に届く広報活動

1-2-1 様々な媒体を活用し、市民に届く積極的な情報発信を行います	令和4年度 取組目標【Plan】
	●図書館ホームページ、Twitter、図書館だより等を活用し、多角的な情報発信を行います。 ★未就学児の読み聞かせ絵本リストを作成し、図書館以外の配布場所の検討を行います。

施策1-3 ICTを活用した図書館サービスの充実

1-3-1 図書館サービスの向上につながるICT活用と今後の在り方の検討を図ります	令和4年度 取組目標【Plan】
	●図書館サービスのICT活用を検討・研究します。 ●オンライン環境によるイベントを行います。

凡例 ☆ = 新規重点取組事業 ★ = 継続重点取組事業 ○ = 新規事業 ● = 継続事業

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

施策1-1 期待される成果：図書館が利用しやすくなったと感じる市民が増える

1-1-1 安全・安心に利用できる 施設環境の整備	●館内防災訓練と警察による職員向け講習会の実施（本、東、緑、北） ●ブックポスト1台の入替 ○業務用放送設備の入替（本） ●図書除菌機を継続設置（本、東、緑、北）
1-1-2 誰もが利用しやすい施設 環境の整備	○新聞閲覧台の設置（本） ○参考資料室閲覧机照明のLED化（本） ●コミュニケーションボード、筆談ボード等の設置（本、東、緑、北、西） ○図書館の利用案内の外国語版（英語、中国語）をユニバーサルフォントで作成
1-1-3 地理的・時間的制約を 超えたサービスの提供検討	★本館開館時間延長に向けた課題整理（時間延長を想定した時差出勤の実施） ☆緑分室委託に向けたサウンディング型市場調査の実施と課題整理 ●他市図書館視察（立川市立柴崎図書館、小平市立中央図書館）

施策1-2 期待される成果：市民の図書館情報への接触頻度が増える

1-2-1 様々な媒体による積極的 な情報発信	★未就学児向け読み聞かせ絵本リスト（500部）を作成して配布 ○小金井観光まちおこし協会に協力を依頼し「図書館基本計画（概要版）」を武蔵小金井駅及び東小金井駅構内のチラシスタンドに配架 ○こがね電子図書館のチラシを市役所庁舎と市関連施設にて配布 ●各館のイベント周知及びテーマ本点字について、図書館HPとTwitterで広報 ●「図書館だより」発行（本・緑6回） ●YA世代向け広報誌発行（北4回） ●「ひがしちょう空間」発行（東4回） ●「きたまち空間」発行（北4回）
-------------------------------	--

施策1-3 期待される成果：サービスの利便性が高まる、サービスが効率化する

1-3-1 ICT活用と今後の在り方 の検討	●ICT活用研究の一環として、Wi-Fi設備等設置の検討 ●オンラインおはなし会（緑）の実施（12回、138人参加） ○イベント等の申込みにLogoフォームの活用（本） ●オンラインイベント（北）の実施（「ぬくきたりーブル1回6人」「恋活読書会5回30人」「死生観を語り合うひととき2回21人」「読書会主催者が集う読書会1回10人）
------------------------------	---

凡例1 ☆＝新規重点取組事業 ★＝継続重点取組事業 ○＝新規事業 ●＝継続事業

凡例2 「本」＝本館 「東」＝東分室 「緑」＝緑分室 「北」＝貫井北分室 「西」＝西之台会館図書室

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

A

- A：基本方針に対しての成果があった。
 B：基本方針に対しての成果は一部分であった。
 C：基本方針に対しての成果を出すためには、課題がある。

- ・施設に必要と思われるものの整備により、施設環境の維持に努めた。施設の照明は、環境に配慮したLED照明への入れ替えを順次行いたい。
- ・本館開館時間延長に向け、時差出勤形態を検討・試行を実施し、課題の整理が進んだ。
- ・市民協働・公民連携の推進を図るため、緑分室の委託化に向けたサウンディング型市場調査（注1）を行い、施設環境等の整備のための課題整理が進んだ。
- ・作成した絵本リストは全館で配布する以外に、令和4年度は健康課に依頼し、「母と子の保健バック」内に封入した。絵本リストを手にする機会を増やすことができた。
- ・図書館の活動を周知するため、図書館だよりやTwitter等で図書館から積極的に情報発信を行った。
- ・Twitterの投稿において、画像に代替テキストを添付した。自動読み上げ機能が活用できるため、視覚障害のある利用者にも配慮した情報発信することができた。
- ・Wi-Fi設備等設置に関しては、利用コンセプトや利用見込み等の検討を行った。
- ・オンラインでの講座を令和4年度も継続して実施した。遠方の講師も登壇できることや参加者も開催場所までの移動が無い分、利便性が高まった。
- ・ICT活用の一環で、一部のイベントでインターネット受付を導入し、業務の効率化を図ることができた。

注1 サウンディング型市場調査：市が民間事業者等と対話することで、民間事業者の意向等を適切に把握しながら、地域の特性やニーズを併せ、事業の構成や条件整理に役立てることを目的とした調査

次年度以降の実施・改善事項【Action】

- ・引き続き、誰もが安全・安心に利用できるよう施設環境の整備を継続していきたい。
- ・本館の開館時間延長に向けて引き続き課題整理を行いたい。
- ・緑分室の委託に向けて、サービス拡充につながるよう、引き続き準備を行いたい。
- ・絵本リストは今後も幅広い周知の機会を確保しながら、対象年齢を分けて作成を進めたい。
- ・オンラインでの講座は利用者の要望などを踏まえて、継続か見直しかの検討を行いたい。
- ・Wi-Fiに関しては、引き続き導入に向けた準備を行いたい。

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

基本方針 1 について

・施策 1-1 では、「施設とサービスの環境づくり」になっているが、項目として、施設の環境を整えるについての項目はあっても、サービスの環境を整えるということが項目になく、特に、サービスの環境を整える取り組みについては、記述がない。サービスの環境としては、1-1-2にあるような照明とかボードの設置に加えて、コンピュータやタブレットの購入・貸出、さらにこれらの使い方のマニュアルや、本棚の配置、本棚の表示等々があると思われる。これには、例えば、OPAC用のパソコンがあるとして、そこに簡単な検索方法を画面付きのシートを置いて、検索結果の見方、本棚への誘導などの図入りの簡単なシートも必要である。

つまり、利用者が、自分で館内を自由に動き回って、探したり、読んだりすることができる、という、サービスを利用者が受けるための環境を整備することも含まれる。こうした点から、まず、現状を見直して、順次、良いものにしていく必要がある。サービスの環境整備には、本棚の配置や分かりやすい書架図の作成など、さまざまなものが考えられる。こうした環境が整備されて、施策の 4-2 などが取り組まれると、その取り組みの効果がよりよくもたらされるということになると思われる。

これには、障がい者などの方々が利用する環境も含まれる。例えば、車いすに乗って本棚の間で本を手にとって広げた時、適正な明るさが保たれているか、本棚の影があつて、読みにくくなっていないか、なども含まれる。

・施策 1-2-1 には、児童生徒も含まれるのではないか。保育園、学童、学校などへの働きかけなどの来年度検討してはどうか。

・施策 1-3-1 で、タブレットを 10 台程度は購入して、館内どこでも利用できるようにしたい。また、それらを活用して、検索のレクチャー会などを開催するようにしたらどうか。

・図書館ホームページのイラスト、いいです。図書館にふさわしい。

・基本方針 1 に対する評価は、「A」でいいと思う。

・オンラインでの講座等の開催は、オンラインだけ、オンラインでも視聴できる、など、テーマや条件によって、検討したらいと思う。

・全体として新規事業が少ない。施策 1-1-1、1-1-2 の施設関係の新規事業は内容的には施設の環境を保つための事業であり、成果とは言い難いと感じる。1-1-3 についても、課題の整理のみなので、同様に成果があったとは言い難い。むしろ、開館時間延長や緑分室の委託が実現した時に「成果があった」とするべきである。施策 1-2、1-3 についても継続事業が多く、新規事業としているものも成果があったとまでは評価できるとは思えない。したがって、基本方針 1 については、「B：基本方針に対しての成果は一部であった。」が望ましいと思う。

なお、1-1-3 について、ホームページを活用したサービスも検討すべきではないか。例：（施策 4 の改善点にもあるが）ホームページの「調べものリンク集」の充実、内容の改善をはかる等を改善点にあげて検討されたい（理由：これまでも協議会の中で要望がでていたこと、施策 1-3 の「ICTを活用した図書館サービスの充実」、前述の施策 4-2 につながるため。また、読み上げソフトなどを利用することにより、ハンディキャップの方々も利用が可能であるため）。

・Action で「オンラインでの講座は利用者の要望などを踏まえて、継続か見直しかの検討を行いたい。」とあるが、「非接触」「遠隔」が必須要素とされるコロナ禍以降のニューノーマル時代の現在、利用者ニーズは変化している。オンラインは積極的に利用してはどうか。検討を行いたいとあるが、開催形式を、対面のみ、オンラインのみ、対面とオンラインのハイブリットというふうな形態で試行し、主催者、講師、参加者にアンケートを実施、集計するという調査を提起したい。

・実際に活動をした部分が多くみられる。

・Check：本館開館時間延長、時差勤務など具体的な内容が示されており、すすんでいることがわかる。その分で、Action の「課題整理をしていきたい」が不明確に思う。例えば R. 8 年度までになど。

・オンライン講座の Check は利便性が高まったとあるが、Action では見直しなどの検討。何か検討すべき点があったのか？あれば Check に載せるとよい。

・Wi-fi について、どこまで進んだのかがわかりにくい。Action ではどんな準備をしていきたいと考えているのか？

基本方針 2 読書の楽しみと喜びを広げる図書館

内容

読書を介して、人は、別の世界を覗いたり、疑似体験や新たな発見をしたり、生活に役立つ知識を得たり、誰かと読後感を共有したり、趣味や興味が広がったりと、その楽しみ方や醍醐味は無限大です。図書館では、あらゆる人が本に触れる喜びと読書の楽しみを体験できるように努めます。

取組目標【Plan】

施策2-1 子どもに読書の楽しみを届ける活動の充実

2-1-1 図書館に親しんでもらい、 読書を楽しんでもらうための 事業・イベントを開催します	令和4年度 取組目標【Plan】
2-1-2 学校等への図書の団体貸 出等を通して、幅広い資料 に触れてもらい読書の幅が広 がるように支援します	★図書を身近に感じてもらえるよう、乳幼児から参加できるおはなし会やイベント、また主に小学生を対象としたテーマ展示を行います。 ●市立小学校の1年生には図書館の利用啓発のため、訪問活動を行います。 ●子どもに関わりのある団体へ団体貸出を行います。 ☆市内小学校の学級文庫向けの団体貸出パック（6年生）の追加を行います。 ●図書を身近に感じてもらえるよう、主にYA世代を対象としたテーマ展示を行います。 ●YAサポーターと協力・連携をしてイベント等を行います。
2-1-3 ヤングアダルト（YA）世代 向けのコーナーやイベント等の 充実を図ります	

施策2-2 人生100年時代の多種多様な学びの支援

2-2-1 多様な年代が、知的好奇心を 満たし、新たな発見を得 られるよう働きかけます	令和4年度 取組目標【Plan】
	★図書を身近に感じてもらえるよう、幅広い世代を対象としたテーマ展示、一般向けの講座やイベント等を行います。

施策2-3 特別な配慮が必要な人への支援の充実

2-3-1 ハンディキャップ・サービスの 拡充を図ります	令和4年度 取組目標【Plan】
	●点訳・音訳資料を図書館サポーター（ボランティア）の協力を得ながら、作成をしていきます。 ●対面朗読、宅配サービスを行います。 ★ハンディキャップ・サービスの周知のため、広報活動の拡充を検討します。

凡例 ☆＝新規重点取組事業 ★＝継続重点取組事業 ○＝新規事業 ●＝継続事業

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

施策2-1 期待される成果：読書を楽しみ、図書館を利用する子どもが増える

2-1-1 子どもが図書館に親しみ、読書を楽しむ事業の実施	★乳幼児おはなし会の実施（本6回59人、東4回55人） ★おはなし会（本45回501人、東6回38人、緑24回308人（オンライン含む）、北34回233人） ★乳幼児（0歳～5歳）向けイベントの実施（本3回22人、東1回14人、緑・北なし） ★子ども向けのイベントの実施（小学生以上及び家族向けイベントも含む）（本4回76人、東3回28人、緑2回41人、北5回92人） ★児童向けテーマ展示の実施（本34回、東20回、緑27回、北25回、西12回） ●学校訪問(市立小学校の一年生対象)（9校、1,067人）
2-1-2 子どもの読書の幅が広がるような支援	☆6年生向けの団体貸出パックの追加（6パック分） ●団体貸出（225団体、22,468冊）うち、調べ学習支援は25件 ●外国語の絵本及び児童書の購入（全館89冊） ●ハンディキャップのある子ども向けの図書の購入（全館10冊）
2-1-3 YA世代向けのコーナーやイベント等の充実	●YA（中高生）向けイベントの実施（北2回13人） ●YAサポーターとの交流・活動の実施（北5回16人） ●YA向けテーマ展示の実施（本8回、東3回、緑5回、北12回、西なし） ●YA世代向け広報誌の発行（北4回） ○理化学研究所・編集工学研究所共同プロジェクト「科学道100冊」に参加（東） ●職場体験等受入れ（中高生）（本、東、緑）

施策2-2 期待される成果：読書を楽しむ市民が増える

2-2-1 知的好奇心の充足・新たな発見の機会の提供	★一般向けテーマ展示の実施（本34回、東12回、緑26回、北35回、西12回） ★一般向けイベントの実施(大学生以上及び全年齢対象も含む)（本2回22人、東3回29人、緑2回38人、北38回338人）うち、オンラインイベントは北で実施（「ぬくきたリーブル」1回6人、「恋活読書会」5回30人、「死生観を語り合うひととき」2回21人、「読書会主催者が集う読書会」1回10人） ●リサイクル図書配布コーナーの設置（本、東、緑、北）
-------------------------------	--

施策2-3 期待される成果：読書を楽しむ市民が増える

2-3-1 ハンディキャップ・サービスの拡充	☆障害者週間のイベント（宮地楽器ホールにて開催）にてハンディキャップサービスの周知と関連本の展示 ●点訳・音訳資料の作成（10点） ●対面朗読の提供（2回） ●デージー図書の貸出（36点） ●宅配サービス利用の貸出（85件350点）
---------------------------	---

凡例1 ☆＝新規重点取組事業 ★＝継続重点取組事業 ○＝新規事業 ●＝継続事業

凡例2 「本」＝本館 「東」＝東分室 「緑」＝緑分室 「北」＝貫井北分室 「西」＝西之台会館図書室

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

A

A：基本方針に対しての成果があった。

B：基本方針に対しての成果は一部分であった。

C：基本方針に対しての成果を出すためには、課題がある。

- ・おはなし会は、コロナ禍の人数制限を解除したため、参加人数が昨年度より増加した。
- ・学校訪問や職場体験受け入れにより、子ども達に図書館のことを知ってもらい、親しんでもらう土壌を作ることができた。
- ・学級文庫貸出は6年生向けの団体貸出パックを追加して、他学年と同数のパック数を用意できた。小学校のクラス数が増えており、図書館が用意しているパック数では足りないため、依然として公平な利用に課題がある。
- ・テーマ展示の回数を昨年より増やした。普段手に取らないジャンルの本を手にする機会を増やすことができた。
- ・一般向けイベントを昨年より増やした。図書館を訪れる機会を増やすことができた。複合施設にある図書館では、併設する公民館との協働事業も行うことにより、公民館利用者の図書館利用を促すことができた。
- ・障害者週間のイベントで、アウトリーチによるハンディキャップサービスの周知を行うことができた。

次年度以降の実施・改善事項【Action】

- ・読書の楽しみや、手に取らない資料との出会いを増やすためのイベントやテーマ展示を継続していきたい。
- ・学級文庫貸出用の団体貸出パックの追加を行いたい。また、団体貸出の予約方法を、ICT活用（施策1-3-1）と関連させて、インターネット予約の環境を整備したい。
- ・ハンディキャップサービスの周知のため、様々な方法での広報活動を継続していきたい。

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

基本方針 2 について

- ・施策 2-3-1 に関連して、4-2-3 では、ハンディキャップサービス関係の研修に職員を参加させて、専門性を高めるようにする
といわれる。ハンディキャップサービスには、ICTの技術も求められる。
- ・全体として新規事業が少ないが、こども、学校、ヤングアダルトを対象とするサービス、ハンディキャップ・サービスについては、一定の
成果があると感じるので、評価はAでよいと考える。
- ・施策2-2では、一般向けのサービスとしてテーマ展示と読書会の回数を増やしたことを評価の根拠としているが、統計でも来館者
数は漸減で、「図書館を訪れる機会を増やすことができた」までは言い難いと感じた。テーマ展示と読書会以外にも、ICT活用
（施策1-3-1）と関連させて、協議会で要望のあったインターネット情報の探し方や情報リテラシーの講座の実施を、次年度以降
の実施・改善事項に加えることが望ましい。
- ・CHECKの「一般向けイベントを昨年より増やした。図書館を訪れる機会を増やすことができた。複合施設にある図書館では、併
設する公民館との協働事業も行うことにより、公民館利用者の図書館利用を促すことができた。」については、成果が得られた。公
民館と一層連携し、現ユーザーだけでなく、見込みユーザー、潜在ユーザーに働きかけを強める方策を試行してもらって今後につな
がるのではないかな。
- ・乳幼児やYAについては2-1で満たされている。高齢者向けのイベントなどがあったのか？また、人生100年時代の意識した展
示があったのか？
- ・様々な活動が行われていることがD o からわかる。活動数多く、今後も継続してほしい。

基本方針 3 地域に役立ち、地域とともに歩む図書館

内容

図書館は、市内で活躍する人・組織・団体等と協力・連携することで、地域と支えあいながら、地域に役立つ図書館を目指します。

取組目標【Plan】

施策3-1 地域との協力・連携

3-1-1

地域活性化のため、行政機関や、地域で活動する団体・機関と協力・連携します

令和4年度 取組目標【Plan】

- ★関係団体と連携したテーマ展示を行います。
- 地域で活動する団体や大学等との協力、連携により、地域の読書活動等の拡充が期待できる取組を検討します。

施策3-2 市民との協働

3-2-1

図書館サポーターとともに図書館事業を進めます

令和4年度 取組目標【Plan】

- おはなし会サポーターとともに、おはなし会を行います。
- ★おはなし会・点訳・音訳サポーター（ボランティア）の育成を行います。
- 図書館登録団体へ活動の場等の提供を行います。

3-2-2

図書館登録団体の活動を支援します

施策3-3 市民とともに図書館を考える

3-3-1

図書館サービス・事業の充実に向けて、市民と意見交換を行います

令和4年度 取組目標【Plan】

- 図書館座談会等の機会を通じて、意見交換を行います。

凡例 ☆＝新規重点取組事業 ★＝継続重点取組事業 ○＝新規事業 ●＝継続事業

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

施策3-1 期待される成果：地域の団体等の図書館利用が増える、市民が資料に触れる機会が増える

3-1-1 地域活動団体・機関等との協働での地域活性化	★市役所関連各課との連携によるテーマ展示の実施（本13回、東4回、緑18回、北4回、西1回） ★宮地楽器ホールとの連携によるテーマ展示の実施（本2回、緑1回） ○図書館相互利用協定の継続実施と小平市との相互利用協定の締結 ●図書館見学・まち探検受入れ（本7回、東なし、緑3回、北2回） ○地域団体主催イベントへの講師派遣（北：小金井文化協会、小金井こらぼ） ○メディアを活用した図書館の魅力発信（北：小金井市まちおこし観光協会、NHK） ○包括協定先の総合学院テクノスカレッジの学生に電子図書館専用利用番号を付与 ●障害者福祉センター通所者の配架作業受入れ（緑） ●障害者就労支援センター実習生受入れ（緑） ●保育施設等ヘリサイクル図書配布（本1,285冊） ●職場体験等受入れ（大学生）（本、北） ●大学図書館との連携（紹介状2件）
--------------------------------	--

施策3-2 期待される成果：図書館で活動・活躍する市民が増える

3-2-1 図書館サポーターとの図書館事業の推進	●おはなし会サポーターによるおはなし会実施（本4回、東6回、緑12回、北34回） ★おはなし会サポーター育成講座の実施（本1回10人、北1回37人） ○音訳サークルによる本館内アナウンス録音登録 ●点訳サポーターによる点字資料の作成（3点） ●音訳サポーターによるデージー図書の作成（7点） ●音訳サポーターによる対面朗読の実施（2回） ★音訳講習会の実施（本5回）
3-2-2 図書館登録への活動の場の提供	●図書館登録団体による本館集会室・別館利用（163回）

施策3-3 期待される成果：市民のニーズに合ったサービスが提供される

3-3-1 図書館サービス等に関する市民との意見交換	●図書館座談会の一環でバックヤードツアーを実施（本1回7人） ●おはなし会サポーターとの意見交換会の実施（本1回） ●音訳・点訳サポーターとの意見交換会の実施（本1回）
-------------------------------	--

凡例1 ☆＝新規重点取組事業 ★＝継続重点取組事業 ○＝新規事業 ●＝継続事業

凡例2 「本」＝本館 「東」＝東分室 「緑」＝緑分室 「北」＝貫井北分室 「西」＝西之台会館図書室

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

A

A：基本方針に対しての成果があった。

B：基本方針に対しての成果は一部分であった。

C：基本方針に対しての成果を出すためには、課題がある。

- ・宮地楽器ホールが実施するイベントで、関連する資料を展示した。イベント参加者から「図書館にも行ってみる」との声を受けた。引き続き、図書館以外の場所でのアウトリーチ展示は継続したい。
- ・大学図書館は、新型コロナウイルス感染症対策の一環で学外利用制限があったため、紹介状の発行のみの対応となった。
- ・日頃のイベント等をととして、メディアからの取材を受けた。図書館の魅力を発信できた。
- ・本館内業務用放送機器入替に伴い、音訳サークルに協力を得て館内アナウンスの読み上げを行うことができたため、放送が以前よりも聞きやすくなった。
- ・コロナ禍で昨年度は実施できなかった音訳講習会を実施した。
- ・公民館東分室と連携した「子ども司書養成講座」（施策2-1-1に関連）を受講した生徒に、来年度の「子ども読書週間」に展示する図書のPOPを作成してもらった。受講の成果を披露する場の設定は、引き続き検討したい。
- ・おはなし会サポーター育成講座は「特別支援学校・学級での読書活動」というテーマで実施し、参加者に好評を得た。
- ・図書館バックヤードツアーには、幅広い年齢層が参加し、普段利用者の目に触れない図書館業務を伝えることができた。質疑では予約方法等のサービスに関する質問があり、自由な意見交換が行えた。

次年度以降の実施・改善事項【Action】

- ・本館、分室問わず地域団体との繋がりが構築されており、相互協力が根付いている。地域団体、関係団体、複合施設の場合は併設機能（公民館等）との繋がりを維持する一環で、連携したテーマ展示は継続していきたい。
- ・おはなし会・音訳・点訳サポーターの育成を進め、サポーターの協力を得ながら、事業を継続していきたい。
- ・おはなし会サポーター育成講座は、引続きサポーターの要望に合わせたテーマを設定したい。

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

基本方針 3 について

- ・施策 3-1-1 については、取り組みも多く、今後も継続していきたいことだが、これからは よりきめ細かな取り組みも期待したい。 大人の学びなおしとも関連するが、新しい教科書で取り組むことになっている課題のうち、地域の活性化にかかわるものから、まず、はじめる。例えば、中学の地理で取り組む、地域の課題を見出し、その解決策を考えると、高校の理科の、地域の防災計画を見直す、また、ビジネス基礎で、ビジネスの視点から地域のマップをつくる、などがある。 図書館界では、地域の実情・資源等を図書館の視点から把握して、サービスに役立てていくという「コミュニティアセット」という考え方が出てきたが、これは、まず、図書館として、図書館に関係する地域の団体・個人・商店、施設、遺跡、文化的な行事などを把握して、地図に書き込むという作業に取り組んで、その中から、地域に関わるサービス・事業を構想していくということになると思う。来年度以降、検討事項にしてはどうか。
- ・基本方針 3 に対する評価も「A」が妥当と考える。
- ・新規事業は少ないが、取り組み目標に沿った活動をしているため、評価はAでよいと考える。
- ・ACTIONの「公民館東分室と連携した「子ども司書養成講座」を受講した生徒に、来年度の「子ども読書週間」に展示する図書のPOPを作成してもらった。受講の成果を披露する場の設定は、引き続き検討したい。」について、成果を評価する。「子ども司書養成講座」の継続を望む。子ども達に等しく体験して学んでもらいたい。そのために、＝「第4次小金井市子ども読書活動推進計画」3学校・学校図書館の取組(1)各市立学校での支援1読書をする機会の工夫と充実＝に「子ども司書養成講座」を組み込むことを検討してもらいたい。
- ・小平市との連携、もっと強調してもよさそうだが、利便性が高まったと思われる。
- ・大学図書館について、連携とはどのようなものか？
- ・施策3-3 図書館を考えるとあるが、考える場になったのか？ Actionでは質疑応答をして意見交換をしたとある。Doのところでも意見交換となっている。意見交換と考えることは同義か？もし、意見交換で具体的な例があれば、「○○」などの声があったや、「△△」と言った意見があり、図書館ではこのように対応した。などがあると市民と共に考えたように見える。Actionの子ども司書も、成果の発表もいいが、こんな図書館がいいなどの意見を集めると、共に考える図書館になるのではないか。
- ・3-3-1 では、図書館サービス・事業の充実に向けての市民との意見交換会について、次年度、お話し会を利用される市民の意見も取り入れられるように、一般市民も参加できるとよいと思う。また、取組目標が「意見交換会を行う」とあるので、事業の結果が回数だけの提示となったのだと思うが、その内容やそれに基づいての次年度の取組（改善）が記載されているとよかった。
- ・図書館の利用状況について、令和2年度からは増加しているが、令和3年度と比較すると、ほとんどが減少している。その理由が知りたい。その分析を次年度の取組に活かしていただきたい。

基本方針 4 知る権利、学ぶ権利を守る図書館

内容

図書館は、資料と情報を収集・整理・保存・提供することで、文化を後世に伝えるとともに、市民の調べる・知る・学ぶ機会を提供します。

取組目標【Plan】

施策4-1 資料の収集、整理、保存、提供の充実

4-1-1 幅広い分野において、魅力ある資料の充実を図ります	令和4年度 取組目標【Plan】
4-1-2 電子書籍の充実を図ります	★小金井関連の資料を電子化し、電子書籍の充実を進めていきます。 ●「こがねい電子図書館」の周知を行います。

施策4-2 市民の「調べる」「知る」「学ぶ」を支える

4-2-1 「調べる」「知る」「学ぶ」ための資料・情報の充実を図ります	令和4年度 取組目標【Plan】
4-2-2 「調べる」支援の充実を図ります	●調査研究のための資料、情報を収集・保存・整理し、提供します。 ●図書館業務の質の向上、レファレンス機能の向上を目的とした研修に参加します。
4-2-3 図書館スタッフの専門性を高めます	

施策4-3 小金井の文化・歴史の継承、発信

4-3-1 わかりやすい地域学習に役立つ資料の作成を行います	令和4年度 取組目標【Plan】
4-3-2 小金井に関する地域資料・行政資料を充実し、利用者へ提供します	★地域学習シートを作成・発行を行います。 ●地域資料、行政資料を収集、保存を行います。 ●地域資料のテーマ展示を行います。

凡例 ☆＝新規重点取組事業 ★＝継続重点取組事業 ○＝新規事業 ●＝継続事業

小金井市立図書館基本計画 図書館評価	
施策4-1 期待される成果：図書館が提供する資料に魅力を感じる市民が増える	
4-1-1 魅力ある資料の充実	○「図書館運営方針」（平成元年12月策定）を「小金井市立図書館基本計画」及び「小金井市立図書館選書基準」に分割 ●資料の購入・受入れ（24,251点） ●相互貸借による資料提供の実施
4-1-2 電子書籍の充実	★こがねい電子図書館の利用案内の英語版・中国語版の作成 ●こがねい電子図書館のチラシを市役所庁舎と関連施設に配布 ●電子書籍資料の貸出（10,525点） ★「こがねい電子図書館」に生涯学習課文化財係の協力のもと、地域資料と解説文を電子化、公開（5点）
施策4-2 期待される成果：図書館で調べる、知る、学ぶ市民が増える	
4-2-1 調べる・知る・学ぶための資料・情報の充実	●参考資料の受け入れ（全館168点） ●利用者用インターネット端末の提供（本161回、北138回） ○一般書の書架の差し込み表示の一部を新しく作成（東）
4-2-2 レファレンス・サービスの充実	●国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、歴史的音源サービスの案内 ●図書館だよりで参考資料紹介（1回）
4-2-3 図書館スタッフの専門性向上	●図書館業務の質の向上を目的として都立図書館等主催の研修に参加 ●生涯学習課文化財係との研修会実施 ○総務課情報公開係による研修会実施 ○企画政策課男女平等参画室による研修会実施
施策4-3 期待される成果：小金井の文化・歴史に対する市民の関心が高まる	
4-3-1 地域学習に役立つ資料の充実	★地域学習シート「小金井わくわくたんていだん」の発行（1回）
4-3-2 小金井に関する地域資料・行政資料の充実	★「こがねい電子図書館」に生涯学習課文化財係の協力のもと、地域資料と解説文を電子化、公開（5点） ●地域資料・行政資料の収集 ●定点撮影の実施 ●小金井に関する新聞記事の収集、ファイリング ●市民文庫の充実（北） ●地域資料のテーマ展示（北5回）

凡例1 ☆＝新規重点取組事業 ★＝継続重点取組事業 ○＝新規事業 ●＝継続事業

凡例2 「本」＝本館 「東」＝東分室 「緑」＝緑分室 「北」＝貫井北分室 「西」＝西之台会館図書室

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

A

- A：基本方針に対しての成果があった。
- B：基本方針に対しての成果は一部分であった。
- C：基本方針に対しての成果を出すためには、課題がある。

- ・「小金井市立図書館運営方針」の期間が令和４年３月末で終了するため、運営の方針を「小金井市立図書館基本計画」、選書の方針を「小金井市立図書館選書基準」として内容を継承し策定した。これにより、図書館法第７条にある図書館評価に対応することができた。
- ・国会図書館デジタル化資料送信サービスの案内により、現物入手不能な資料等のリクエストに応じることが出来た。同サービスへの個人登録が可能となったため、図書館での利用者は減少している。
- ・図書館スタッフの能力向上のため、関係課（企画政策課、生涯学習課、総務課）に依頼し内部研修を実施した。幅広い知識を得ることができた。
- ・生涯学習課文化財係と、小金井の文化・歴史に関する資料作り（地域学習シート、こがねい電子図書館内の小金井市関連資料）を行った。
- ・地域資料、行政資料の収集を進めているが、電子化や紙資料の保管については課題がある。
- ・電子化した地域資料を「こがねい電子図書館」に掲載することによって、市民が地域資料にアクセスしやすくなった。

次年度以降の実施・改善事項【Action】

- ・「小金井市立図書館選書基準」の内容について、適宜見直しをしていきたい。
- ・「こがねい電子図書館」の利用促進のため、利用案内の配布方法を検討したい。
- ・「こがねい電子図書館」の利用促進のため、今後も地域の学校等を中心に、利用ニーズを研究していきたい。
- ・調べもの支援の一環として、図書館ホームページに調べもののリンク集等の整備を行いたい。
- ・地域学習支援シートの作成、発行を継続していきたい。
- ・図書館業務の質の向上を目的とした研修への参加は継続していきたい。
- ・地域資料の電子化を引き続き進めていきたい。
- ・資料保管の一環として、外部保管等も含めて研究を行いたい。

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

基本方針 4 について

・施策 4-1 の資料の収集については、いろいろと図書館界に対して外部から批判があるところである。ただ、これには現状の取り組みに対する図書館側からの説明が不足している面が多く、図書館としても、今後、実情の把握と説明方法などについて検討する必要があると思う。日本では、年間、国立国会図書館が収集している図書（国際基準の80ページ以上）は、16～17万点程で、これらには一般書店から入手できる7～8万点が含まれる。ただ、図書館としても、資料費の点から、一定の%しか購入できない、それに、それ以外の資料は、入手に非常に手間暇がかかって、また、時間がかかる。都立や国立国会等から貸出をうけることで対応するほかない状況である。こうしたことを考えると、都立や国会からもっと早く配送してもらえるように働きかけることも必要かと思う。

・施策4-2では、4-2-3図書館員の専門性を高める、というところで、インターネット上の各種情報源、政府、地方自治体、国際機関等の情報源の検索方法や、オンラインデータベースの検索方法の習熟、ということがまず必要である。これをベースに、市民への情報リテラシー向上のレクチャー会や講座、図書館の使い方も含めたワークショップ等の開催が必要で、これは、ほかの図書館に見られるように、市民の中の技術を持っている人たちの協力をあおぐと、より頻度も多く、広い範囲で実施できると思う。来年度以降、検討すると良い。

・施策4-3-1は、図書館としては、基礎となる情報の収集と、テーマごとに地図に記入したものを、市民の協力を得て作るということも考えていいと思う（タブレット用に開発された「高遠ぶらり」のようなソフトを導入して、市民が自分で地域の史跡や老舗の商店など、さまざまな情報を書き込んで共有するというのも考えていいと思う。伊那市では小学校の先生がそれを使って授業したり、観光協会が、市内観光の案内などに役立てたりしている）。

・基本方針 4 も評価は「A」でいいのではないか。

・過去の図書館協議会の討議では「選書基準」の改定が進んでいないと認識しているが、どのような状況なのか。成果があったとはいえないと思われる。施策4-3-2の「地域資料・行政資料の収集」にしても、組み立て上は、「選書基準」や収集方針などで、きちんと位置づけるべきであると思う。

・新規事業が少なく、電子図書館の利用者の伸び悩みや国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用者減、その他、課題があるとする項目があるので、評価はBが望ましいと考える。

地域資料の電子化については評価はできるが、電子化の優先順位（電子化計画の作成）やホームページでの見せ方（現在の資料と古い資料を見出しを付けて区別するなど）の工夫が必要だと思われるので、これらを改善事項としていただくことを希望する。

・Actionの「「こがねい電子図書館」の利用促進のため、今後も地域や学校等を中心に、利用ニーズを研究していきたい。」について、2021年4月からGIGAスクール構想に基づいた教育が本格的にスタートし、義務教育課程の小中学校の児童・生徒は、学習用端末“1人1台”環境を実現していると付言する。

・Actionの「図書館業務の質の向上を目的とした研修への参加は継続していきたい。」について、研修の対象者、研修領域、研修の実施主体、研修の形態や方法、研修の課題を報告してもらえるとよい。

・Actionの「地域資料の電子化を引き続き進めていきたい。」について、地域資料のデジタル化の方針等を報告してもらえるとよかった。デジタルアーカイブ、e-book等との比較、利用場面、小中学校の授業実践の可能性等の観点から検討された取組を目指してほしい。

・調べもののリンク集等を整備した際には、活用方法の紹介を積極的に発信してもらいたい。情報検索講座等の開催を期待したい。

・施策4-1について、出前講座などで1年生に図書館について周知してはどうだろうか？その機会もいかすと周知できるのでは？

・施策4-3-1「小金井わくわくたんていだん」について、教育委員などに入ってもらくと、ワーク的なシートになるのではないか。

・施策4-3-2の地域資料の電子化はとてもよいと思う。電子図書館でジャンルでは見つけれられたが、地域資料で検索しても出てこなかった。もう少し幅広い検索で引っかかるとよいのではないか。また、地図の電子化があったが、文字が読み取れないなど、活かしにくい状況がある。電子化して、使えるようにしてこそ知の拠点になるのではないか。

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

全体について

・全体的に事業評価に関する基本的な方向性について理解できた。ただし、次年度以降の実施・改善事項については、図書館協議会が示した第二次評価の結果に基づき、事務局サイドから提案・改善策を出すべきではないかと考える。第一次評価 → 第二次評価 → 改善事項 → 公表というプロセスが必要であると考えます。

・今回の図書館に関する事業評価と、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に規定されている、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」の内容や項目との整合性は図られているのでしょうか。また、なぜ、図書館事業について、法第26条の点検評価以外での事業評価を実施するのか、その理由について明らかにする必要があります。

・Doの部分は、新規重点と新規を太字にして最初に記入し、次に継続重点、継続と続けると、新規事業と継続事業の見分けがしやすくなると思う。市民でこの資料を見る方は図書館事業をある程度理解していると思うので、まず新規事業が知りたいと思われる。☆★○●の記号で判別するのはわかりにくく、混在しない方が良いと思う。

・例えば館内防災訓練は不定期→年1回のように改善点を書いた方が評価しやすいので、頻度、回数が明記できるものは、あいまいにせず記入した方が良いと思う。

参考指標（３年間）

	令和２年度	令和３年度	令和４年度
市民登録者数	33,993人	34,130人	33,493人
市民登録率 (市民登録者数÷1/1現在人口)	27.45%	27.39%	26.85%
来館者数（貸出者数）	204,662人	251,765人	243,735人
個人総貸出点数	792,539点	993,051点	933,556点
児童書貸出点数	338,746点	445,971点	414,134点
蔵書数	503,493点	505,435点	504,166点
蔵書回転率 (貸出点数÷蔵書数)	157.41%	196.47%	185.17%
予約件数	218,949件	260,136件	243,659件
電子図書館利用者数 (貸出者数)	829人	1,237人	1,236人
電子書籍の貸出点数	4,291点	10,399点	10,525点
レファレンスサービス件数	4,553件	8,218件	6,813件
ハンディキャップ・サービス 貸出冊数	214点	412点	386点
図書館おはなし会サポーター 団体数	15団体	15団体	15団体
図書館登録団体数	7団体	7団体	7団体
図書館と連携事業（展示）を 行った機関数	5団体	5団体	7団体

「小金井市の図書館（令和４年度版）」より一部抜粋
「東京都公立図書館調査結果」とは一部集計方法が異なるため、数値が異なる。

【参考資料】 令和5年度 東京都公立図書館調査結果より抜粋(数字は令和4年度実績)

小金井市立人口	蔵書数図書総数(冊)	個人貸出登録者登録者総数(人)		個人貸出登録者有効登録者数(人)内訳うち自治体内有効登録者		個人貸出貸出冊数貸出総数(冊)		個人貸出貸出冊数貸出総数(冊)内訳うち自治体内貸出数		予約受付総数(冊)	
		市民一人当たり(冊)		市民割合				市民一人当たり(冊)		市民一人当たり(冊)	
八王子市	561,034	1,669,700	2.98	115,415	48,579	8.66%	2,250,046	2,153,205	3.84	765,715	1.36
立川市	185,552	923,917	4.98	57,373	不明	-	1,439,916	不明	-	402,499	2.17
武蔵野市	148,196	974,920	6.58	200,662	37,524	25.32%	2,248,167	不明	-	638,489	4.31
三鷹市	190,173	814,791	4.28	94,806	36,960	19.43%	45,184	1,676,357	8.81	412,679	2.17
青梅市	129,918	627,280	4.83	46,338	不明	-	755,123	不明	-	31,267	0.24
府中市	259,572	1,563,784	6.02	133,180	不明	-	1,580,517	不明	-	620,225	2.39
昭島市	114,279	492,941	4.31	43,256	不明	-	741,014	689,918	6.04	156,541	1.37
調布市	238,952	1,352,583	5.66	9,183	63,320	26.50%	2,310,729	不明	-	666,813	2.79
町田市	431,018	1,186,838	2.75	473,586	73,014	16.94%	3,147,069	2,844,402	6.60	687,902	1.60
小金井市	124,713	504,166	4.04	38,035	18,780	15.06%	941,382	863,118	6.92	243,659	1.95
小平市	196,543	1,219,969	6.21	153,977	30,165	15.35%	1,392,544	1,292,369	6.58	360,260	1.83
日野市	187,180	835,120	4.46	30,630	27,742	14.82%	1,465,388	不明	-	534,677	2.86
東村山市	151,598	727,532	4.80	未取得	21,419	14.13%	1,042,697	945,505	6.24	256,965	1.70
国分寺市	128,691	595,167	4.62	44,993	17,695	13.75%	831,762	793,088	6.16	213,612	1.66
国立市	76,182	355,753	4.67	24,129	11,210	14.71%	421,458	393,212	5.16	90,953	1.19
福生市	56,055	464,912	8.29	7,272	4,682	8.35%	379,229	不明	-	49,238	0.88
狛江市	82,723	304,259	3.68	23,450	11,466	13.86%	491,917	448,632	5.42	139,618	1.69
東大和市	84,920	467,170	5.50	31,141	不明	-	586,236	不明	-	102,985	1.21
清瀬市	74,590	405,023	5.43	95,786	9,867	13.23%	497,539	371,975	4.99	152,473	2.04
東久留米市	116,760	495,906	4.25	18,271	13,991	11.98%	768,297	不明	-	194,329	1.66
武蔵村山市	71,236	323,489	4.54	42,490	12,273	17.23%	263,824	239,580	3.36	60,202	0.85
多摩市	148,107	777,999	5.25	42,183	24,453	16.51%	1,463,830	1,317,961	8.90	472,217	3.19
稲城市	93,486	678,155	7.25	32,220	21,990	23.52%	1,088,521	749,653	8.02	247,686	2.65
羽村市	54,386	415,184	7.63	20,208	5,562	10.23%	262,042	216,617	3.98	25,519	0.47
あきる野市	79,648	640,738	8.04	16,017	13,171	16.54%	547,375	444,053	5.58	99,568	1.25
西東京市	205,943	781,210	3.79	95,979	30,735	14.92%	1,965,069	1,620,932	7.87	750,317	3.64

「個人貸出登録者数」年間の累計登録者数ではなく、評価対象年度末日現在の登録者数。なお、視聴覚資料の登録者は含むが、障害者サービスの登録者及び電子書籍サービスの登録者は含まない。

「個人貸出登録者有効登録者数」調査対象年度内に図書館を利用した登録者数。